



## 国内のGMS（総合スーパー）として初の実施 全185店舗の会計レジに募金箱を通年設置 ～16年3-5月まで日本政府推進「子供の未来応援基金」と連携～

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：亀井 淳、以下「イトーヨーカドー」）は、2016年3月1日（火）より、国内のGMS（総合スーパー）として初めて、全国のイトーヨーカドー、セブン美のガーデン、ザ・プライス、全185店の会計レジ約6,000台に募金箱（合計約6,000個）を通年設置し、年間を通じてお客様、従業員へ募金を呼びかける活動を開始いたします。（\*セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く。）なお、この募金は今後、3か月単位で様々な社会的課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

また、今回実施する本年3月～5月の3ヶ月間の募金については、内閣府等による、いわゆる貧困の連鎖の解消を目指して推進している「子供の未来応援国民運動」（推進事務局を内閣府、文科省、厚労省及び日本財団で構成）と連携し、国民運動の一環として設置された「子供の未来応援基金」に募金金額の全額を寄付いたします。同基金を通じて、貧困の状況にある子どもに学習支援や衣食住の支援等を行うNPOなどへの支援や、子どもの居場所を整備して生きる力を育むプログラムを提供するモデル拠点事業に活用されます。

【展開例】※ディック・ブルーナさんの描く子どものイラストのデザインのPOPやポスターを展開

Illustration Dick Bruna © copyright Mercis bv,1995 www.miffy.com



【レジの募金箱】



【約6,000台のレジに取り付け】



【A2サイズのポスターを展開】

国民運動推進事務局  
子供の未来応援基金

イトーヨーカドーでは、子どもの貧困対策を喫緊の課題と捉え、国民の皆様とともに、貧困の連鎖の解消を目指す新国民運動「子供の未来応援国民運動」の活動に取り組んでまいります。

以上

## ご参考

### 【イトーヨーカドーの募金について】

GMS 各社では従来、突発的な災害募金や期間を限定した募金活動を実施してまいりましたが、このたびの当社による活動は、全店のレジに募金箱を通年設置し年間を通じて募金活動を行うもので、国内のGMSでは初の取り組みとなります。（\*セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く。）

また、この募金は3か月単位で寄付先を決めて募金活動を実施し、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合ってまいります。なお、6月以降の募金内容については5月に発表予定です。

イトーヨーカドーは今後も事業活動を通じ社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

### 【子供の未来応援基金について】

子供たちの将来が生まれ育った環境によって閉ざされることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るとともに、全ての子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指すという方針の下、官公民の応援ネットワークによる国民運動を展開している。

平成27年4月に国民運動発起人集会在開催され、国民運動の趣意書が採択。同10月より、本格的に国民運動プロジェクトを始動。特設サイト（[www.kodomohinkon.go.jp/](http://www.kodomohinkon.go.jp/)）を開設し、支援を求めている方に情報を届ける「支援情報ポータルサイト」や、NPOなどのニーズと企業等の支援をつなぐ「マッチングサイト」、草の根で活動しているNPOなどを応援する「子供の未来応援基金」の創設など、各種事業を推進している。

国民運動推進事務局は内閣府、文部科学省、厚生労働省及び日本財団により構成。

\* お問い合わせ先は内閣府子供の貧困対策推進室（TEL:03-6257-1438）

## 子供の未来応援基金 – 事業概要とお金の流れ –

